

シャッター初のエコマーク

「小松電機産業の高速シートシャッター」四番」 処理場等での採用に弾み



小松社長

小松電機産業（本社、島根県松江市、小松昭夫社長）が製造販売している、高速シートシャッター「四番」の全シリーズが4日、シャッター製品で初となるエコマークの認定を受けた。四番は



岡山県内の処理場などに設置

岡山県内の処理場などに設置が予定されている。四番は昭和60年8月に販売開始。当初主に、防塵や防虫なども目を集め、自動車・食品・精密機器などの製造工場

建物内外部に設置される。出射風の効率が評価され、処理場など水関連化による冷房効果の向上で、温室効果ガスの削減に弾みで普及に弾みが付きそうだ。四番は昭和60年8月に販売開始。当初主に、防塵や防虫なども目を集め、自動車・食品・精密機器などの製造工場

で、これまで1万台を販売している。水関連施設では、▽茨城県日立市の清川屎尿処理場（平成2年納入）▽岡山県矢掛町の第三成アクリルセンター（平成15年納入）などで、いずれも防臭対策として採用されている。6日には、同社によるエコマーク取得の説明会が、第13回関西機械工業技術展（10月6、8日、インテックス大阪）の会場内で行われた。この中で、小松社長は「利用者に応じていただけの製品づくりに努めている。今後は「四番」に水環境総合管理システム『やくも水神』を応用するなど、連携も検討したい」と話した。なお、「四番」は6月から、新製品「Gシリーズ」の販売を開始している。シート速度3分秒の高速上昇を実現し、安マーク認定番号は第1全性が飛躍的に向上。従来比約18倍の機密性、省エネ運転モードなども備えている。一方、エコマークは、財団法人日本環境協会のマーク事務局が認定。高速開閉で熱損失が少なく、騒音も少ない。製造して、エコマーク認定番号は第1013010号となっている。